

『通いの場』通信



Vol.08

平成30年 3月30日発行

第4回支え合いのまちづくりフォーラム を開催しました！

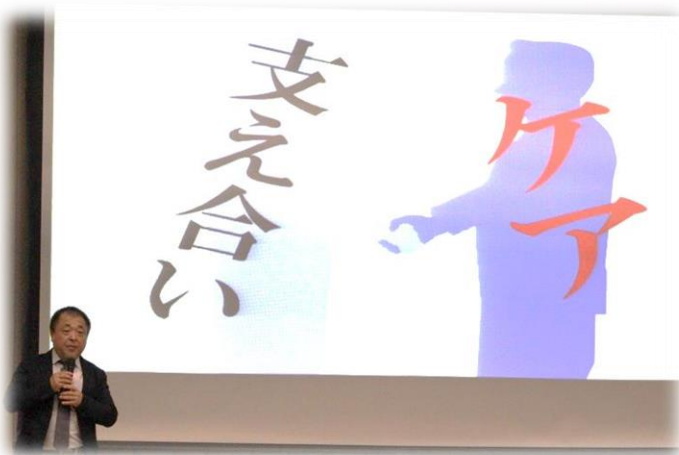
「住み慣れた地域で いつまでも暮らしたい！」

元気な地域・支え合い社会の実現を目指すため、特色ある支え合いの取り組みの発表から、みんなでつながり合って一緒にできることを考えるフォーラムを3月21日（水）にくらしき健康福祉プラザで開催しました。

第一部は「つながり 広がる 支え合い」と題し、ご近所福祉クリエイターの酒井保氏が笑いを交えた楽しいお話をしてくださいました。

介護保険のサービスが充実することは良いことだけれど、フォーマルな福祉サービスを使う

ことでインフォーマルな地域の見守りや支え合い、日ごろから行われているおすそ分け等のつながりが無くなってしまわないようにすることが大切。サービスを利用するご本人の生活歴やご近所・家族とのつながりを、支援する専門職は知っておくことが大切。会場には地域の方々や専門職も来場され「楽しくお話を聞かせていただきました」「もっとお話しを聞きたかったです」「専門職も地域もつながることが大事ということ学びました」という感想もありました。



講師：酒井 保氏

支え合い活動事例集

「暮らし輝の支え合い」ができました！

生活支援コーディネーターが倉敷市内でみなさまに教えていただいた「支え合い活動」を1冊にまとめました！

フォーラムで発表していただいた団体さんはもちろん、市内のいろいろな地域で行われている支え合い活動を掲載しています。支え合いの仕組みや活動の内容とともにみなさまの輝く笑顔、活動されている様子のお写真もたくさん載っています。ぜひぜひ見てください！

「暮らし輝の支え合い」

倉敷市社会福祉協議会、倉敷市役所健康長寿課、高齢者支援センターにあります。また、倉敷市社会福祉協議会のホームページからもご覧になれます。http://kurashikisyakyo.or.jp

ご活用ください！

支え合い活動好事例集

『暮らし輝(くらしき)の支え合い』は
地元・倉敷でのたすけあい、支え合い
活動の取り組みを紹介しています！



つながり広がる『支え合い』活動紹介

フォーラム発表団体の活動を紹介

ふれあいファーム水車の里

休耕地を活かした住民同士の交流ができないだろうかと考え、始められたのがコミュニティ農園「ふれあいファーム水車の里」です。祐安（すけやす）地区は田に水を送る水車が並び、名所の一つとなっています。

参加者が集まって、定期的に草刈りや収穫した作物を持ち寄って、みんなで調理し食べるイベントもされており、地域の方々

子どもたちの交流の場になっています。

トン汁を作ってみんなで食べました！



小山 紀美子氏

福祉無償運送

乙島ボランティアらんらん

山坂の多い土地柄で、車を運転しない高齢者が買い物や通院をすることは大変。NPO法人かめかめ福祉移送の福祉無償運送の事業が終わることをきっかけに、地区社協、コミュニティ協議会、地域住民が担い手となって「乙島ボランティアらんらん」を始められました。

フォーラムでは日々の暮らしに必要な移動手段を地域の人たちで支え合い、運営していくことの大切さや、やりがいについてお話ししてもらいました。



瀧澤 厚志氏

お買い物の荷物がたくさんある時は助かります



みんなの食堂

子どもたちの孤食をなくそう、子育て世代が月に1回でも2回でもゆっくと子どもと一緒に食卓を囲む時間を提供したいと始められた「みんなの食堂」。今では高校生や大学生のボランティアさんが手伝いに来てくれたり、おひとり暮らしの高齢者も来られて、みんなで楽しく食事をする時間を共有されています。

左：竹内 要氏
右：戎 晃子氏



ご飯を食べながら今日あったことをおしゃべりする楽しい時間

お困り高齢者お手伝い隊

地域の人たち同士でちょっと手伝ってほしいことをちょっとお手伝いする仕組みを創りたいと粒江地区社協で話し合いを重ねてきた「お困り高齢者お手伝い隊」活動の仕組みやマッチング、料金設定などの話し合いを重ね、平成30年1月22日に活動を開始されました。

現在、少しずつですが地域の方々にご利用され始めています。高齢者のちょっと手伝ってほしいことをお手伝いすることで、高齢者の見守りにもなっています。



田中 孝一氏

お米の精米の依頼を受けました